



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年8月9日

上場会社名 理研ビタミン株式会社 (コード番号 : 4526 東証第二部)
(URL <http://www.rikenvitamin.jp/>)
代表者 役職・氏名 代表取締役社長 堺 美保
問合せ先責任者 役職・氏名 常務取締役経営企画部長 山下 隆 TEL(03)5275-5835

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内 容) ・税金費用の計上基準……法定実効税率をベースとして計算しております。
・その他影響額が僅少なものにつき一部簡便的な手続きを用いております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内 容) 連結 (新規) 1社

2. 平成19年3月期第1四半期の財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨てております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第1四半期	20,736 (4.7)	1,095 (△29.6)	1,192 (△28.8)	927 (△10.0)
18年3月期第1四半期	19,810 (6.0)	1,555 (△ 8.0)	1,675 (△ 5.3)	1,030 (△ 1.4)
(参考)18年3月期	79,011 (7.1)	4,135 (△19.9)	4,125 (△19.7)	2,887 (△11.5)

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	39 29	- -
18年3月期第1四半期	43 65	- -
(参考)18年3月期	120 99	- -

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成18年4月1日から平成18年6月30日まで)の売上高は、前年同期比 9億26百万円増加し、207億36百万円となりました。

利益面では、前連結会計年度に実施しました千葉工場の粉体設備の更新や草加工場の新調味料設備の新設等の大型設備投資による減価償却費の増加に加え、原油高による原材料費とエネルギー費の上昇、新製品拡販のための広告宣伝費や販売促進費の増加等により、営業利益は 10億95百万円、経常利益は 11億92百万円となりました。当第1四半期純利益は 投資有価証券売却益を 3億6百万円計上したため、9億27百万円となりました。

セグメント別の概況

食品事業部門

家庭用食品では、本年2月に上市したマヨネーズタイプ調味料「ノンオイル」の実績上乘せがありましたが、ドレッシング類は、新製品2品を投入したものの既存品が落ち込んだため、売上は前年を下回りました。またわかめ関連製品は、「生食めかぶ」の厳しい価格競争等により、売上は前年を下回りました。

この結果、家庭用食品の売上高は 54億66百万円(前年同期比 1.8%減)となりました。

業務用食品では、わかめ関連製品は「冷凍めかぶ」が好調に推移し、売上が増加いたしました。またドレッシング類は外食ユーザー向けを中心に売上が増加いたしました。

この結果、業務用食品の売上高は 30億51百万円(前年同期比 6.0%増)となりました。

加工食品用原料では、弁当惣菜向けの「液体調味料」、外食向けの「調理わかめ」、及び「餡(あん)製品」の売上が増加いたしました。また海外市場では、青島福生食品有限公司の欧米向け水産加工品の好調により、前期に引き続き売上が増加いたしました。

この結果、加工食品用原料の売上高は 50億1百万円(前年同期比 18.9%増)となりました。

食品用改良剤では、国内市場は「豆腐用凝固剤」「加工油脂製品」、及び「天然色素」の売上が増加いたしました。また海外市場では、高付加価値品に販売構成をシフトするなかで、売上高は前年とほぼ横ばいで推移いたしました。

この結果、食品用改良剤の売上高は 42億97百万円(前年同期比 2.7%増)となりました。

これらの結果、当食品事業部門の売上高は 178億16百万円(前年同期比 5.8%増)となりました。

化成品事業部門

化成品事業部門では、国内市場は農業フィルム用の防曇剤が落ち込んだものの、OA機器・電子部品関係の添加剤の好調により、売上は前年横ばいで推移いたしました。また海外市場では、欧米のプラスチック用添加剤を中心に売上が増加いたしました。

これらの結果、当化成品事業部門の売上高は 14億62百万円(前年同期比 1.0%増)となりました。

ビタミン・その他事業部門

ビタミン類は、国内市場は「食品用のビタミン」「医薬用のビタミン」とともに売上が減少いたしました。また海外市場では、米国向けの販売実績回復により、売上が増加いたしました。

その他電子精密部品関係は、売上が減少いたしました。

これらの結果、当ビタミン・その他事業部門の売上高は 14億57百万円(前年同期比 4.3%減)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	90,615	58,849	64.6	2,479	36
18年3月期第1四半期	83,754	53,821	64.3	2,279	48
(参考)18年3月期	92,788	58,598	63.2	2,480	53

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 21億72百万円減少して、906億15百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて 2億51百万円増加して 588億49百万円となりました。この結果、自己資本比率は 64.6%と、前連結会計年度末に比べて 1.4%増加いたしました。

○添付資料 (要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、等

【参 考】

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	41,000	2,400	1,650
通 期	82,000	4,350	3,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 121円37銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、当第1四半期の収益状況を勘案し、中間期及び通期の予想を修正いたしました。

※本資料における予想は、現時点において想定できる経済情勢、市場動向や事業環境などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因変化により予想と実際の業績が異なる可能性があります。

【添付資料】

1. (要約)四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	当第1四半期		前第1四半期		増減	(参考)前連結会計年度	
	(平成18年6月30日現在)		(平成17年6月30日現在)			(平成18年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
I 流 動 資 産	43,446	47.9	44,786	53.5	△ 1,340	44,527	48.0
現金及び預金	5,764		10,287		△ 4,523	8,761	
受取手形及び売掛金	20,092		19,693		399	18,850	
た な 卸 資 産	13,113		10,988		2,125	13,096	
そ の 他	4,475		3,817		658	3,819	
II 固 定 資 産	47,169	52.1	38,968	46.5	8,201	48,260	52.0
有形固定資産	27,370		24,081		3,289	27,589	
無形固定資産	901		877		23	907	
投資その他の資産	18,897		14,009		4,887	19,763	
資 産 合 計	90,615	100.0	83,754	100.0	6,860	92,788	100.0
(負 債 の 部)							
I 流 動 負 債	25,564	28.2	24,487	29.3	1,076	26,774	28.9
支払手形及び買掛金	9,162		8,860		302	8,809	
短 期 借 入 金	8,380		6,446		1,934	8,457	
未 払 費 用	4,570		4,208		362	4,132	
そ の 他	3,450		4,973		△ 1,522	5,374	
II 固 定 負 債	6,201	6.8	5,120	6.1	1,081	7,088	7.6
長期借入金	84		477		△ 393	554	
そ の 他	6,117		4,643		1,474	6,533	
負 債 合 計	31,766	35.0	29,608	35.4	2,157	33,863	36.5
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	-	-	324	0.3	-	327	0.3
(資 本 の 部)							
I 資 本 金	-	-	2,537	3.0	-	2,537	2.7
II 資 本 剰 余 金	-	-	2,466	2.9	-	2,466	2.7
III 利 益 剰 余 金	-	-	44,626	53.3	-	46,092	49.7
IV その他有価証券評価差額金	-	-	4,698	5.6	-	7,246	7.8
V 為替換算調整勘定	-	-	△ 450	△ 0.5	-	313	0.3
VI 自 己 株 式	-	-	△ 57	△ 0.0	-	△ 58	△ 0.0
資 本 合 計	-	-	53,821	64.3	-	58,598	63.2
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	83,754	100.0	-	92,788	100.0
(純 資 産 の 部)							
I 株 主 資 本	51,545	56.9	-	-	-	-	-
資 本 金	2,537	2.8	-	-	-	-	-
資 本 剰 余 金	2,466	2.7	-	-	-	-	-
利 益 剰 余 金	46,600	51.4	-	-	-	-	-
自 己 株 式	△ 58	△ 0.0	-	-	-	-	-
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	6,994	7.7	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	6,752	7.4	-	-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	△ 23	△ 0.0	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	265	0.3	-	-	-	-	-
III 少 数 株 主 持 分	309	0.4	-	-	-	-	-
純 資 産 合 計	58,849	65.0	-	-	-	-	-
負債及び資本合計	90,615	100.0	-	-	-	-	-

2. (要約)四半期連結損益計算書

期 別 科 目	当第1四半期		前第1四半期		増減	(参考)前連結会計年度	
	〔 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日 〕		〔 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日 〕			〔 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日 〕	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
I 売 上 高	20,736	100.0	19,810	100.0	926	79,011	100.0
II 売 上 原 価	14,060	67.8	13,088	66.1	972	53,923	68.2
売上総利益	6,675	32.2	6,722	33.9	△ 46	25,088	31.8
III 販売費及び一般管理費	5,580	26.9	5,166	26.0	414	20,952	26.6
営業利益	1,095	5.3	1,555	7.9	△ 460	4,135	5.2
IV 営業外収益	191	0.9	187	0.8	4	458	0.6
V 営業外費用	93	0.4	67	0.2	26	468	0.6
経常利益	1,192	5.8	1,675	8.5	△ 482	4,125	5.2
VI 特別利益	306	1.5	-	-	306	214	0.3
VII 特別損失	2	0.0	29	0.2	△ 26	106	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,496	7.3	1,645	8.3	△ 149	4,234	5.4
税金費用	576	2.8	624	3.1	△ 48	1,384	1.8
少数株主利益(△は損失)	△ 7	△ 0.0	△ 9	△ 0.0	1	△ 37	△ 0.1
四半期(当期)純利益	927	4.5	1,030	5.2	△ 102	2,887	3.7

3. 販売の状況

期 別 事業セグメント	当第1四半期	前第1四半期	増減率
食 品 事 業	百万円 17,816	百万円 16,840	% 5.8
家庭用食品	5,466	5,568	△ 1.8
業務用食品	3,051	2,878	6.0
加工食品用原料	5,001	4,206	18.9
食品用改良剤	4,297	4,186	2.7
化 成 品 事 業	1,462	1,447	1.0
ビタミンその他事業	1,457	1,523	△ 4.3
合 計	20,736	19,810	4.7

4.事業の種類別セグメント情報

当第1四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
I.売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	17,816	1,462	1,457	20,736	—	20,736
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	17,816	1,462	1,457	20,736	—	20,736
営業費用	17,052	1,298	1,291	19,641	(—)	19,641
営業利益	764	164	166	1,095	(—)	1,095

前第1四半期(自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
I.売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	16,840	1,447	1,523	19,810	—	19,810
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	16,840	1,447	1,523	19,810	—	19,810
営業費用	15,631	1,335	1,287	18,254	(—)	18,254
営業利益	1,209	111	235	1,555	(—)	1,555

(参考)前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
I.売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	67,139	5,908	5,963	79,011	—	79,011
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	67,139	5,908	5,963	79,011	—	79,011
営業費用	64,144	5,530	5,200	74,876	(—)	74,876
営業利益	2,994	377	763	4,135	(—)	4,135

注) 1.事業区分は売上集計区分によっております。

2.各事業区分の主要製品

事業区分	事業内容	主 な 製 品 群
食 品 事 業	家 庭 用 食 品	ドレッシング、わかめ製品、レトルト食品、和風調味料
	業 務 用 食 品	わかめ製品、調味料、レトルト食品、ドレッシング、たれ・ソース類
	加工食品用原料	エキス・調味料類、麺用スープ、健康食品、わかめ製品、農水産加工品、餡製品
	食 品 用 改 良 剤	食品用改良剤、食品用乳化剤、天然色素
化成品事業	化 成 品	工業用改良剤、滑剤、流滴剤、防曇剤
ビタミン・ その他事業	ビ タ ミ ン 類	医薬・化粧品用・食品用ビタミン、工業用薬品、飼料添加物
	精密部品その他	電気・電子機器の精密部品、飼料用油脂